

令和5年度 学校運営協議会 第1回議事録

校名	府立生野聴覚支援学校
校長名	田口 登志子

開催日時	令和5年6月29日(木)10:30～
開催場所	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室
出席者(委員)	吉田委員 末綱委員 小椋委員 中尾委員 牧野委員 正木委員
出席者(学校)	校長 田口、教頭 大井・永田、事務長 徳留、首席 井端(部主事と兼ねる)・佐加・中野、部主事 中道・前田
傍聴者	0名
協議資料	令和5年度 学校経営計画及び学校評価他
備考	

議題等(次第順)

1. 学校長あいさつ
2. 令和5年度委員、事務局員紹介 (資料1)
3. 令和5年度 学校運営協議会 実施要項について(資料2.3)
4. 会長、副会長について(資料2)
5. 今年度の学校経営計画について(資料5)
6. その他
 - ・令和6年度使用教科用図書選定について(資料6)
 - ・次回の予定

協議内容・承認事項等(意見の概要)

3. 令和5年度学校運営協議会実施要項について
 - ・要項の確認と過半数の出席に伴い会議の成立について承認された。
 - ・学校運営協議会議事録への名前の掲載について承認された。
4. 会長、副会長について
 - ・会長に吉田委員を、副会長に末綱委員を選出した。
5. 今年度の学校経営計画及び学校評価について

会長: めざす学校像は、①社会自立に向けた生きる力と豊かな言語力の育成②幼稚部・小学部・中学部の一貫した指導・支援の充実を図る③地域の特別支援教育のセンター的役割を果たす。の3つの柱からなると考える。それらを踏まえて、意見交換を行いたい。

<中期目標1>→人権尊重の教育では人権委員会を主軸に各部と情報共有をしている。防犯・防災の取り組みでは避難訓練やさすまたを使った講習会をはじめとして、通学路の確認、見守りなど、保護者と協力して取り組んでいる。

委員: 子どもたちが緊急対応時、主体的、能動的に行動するための力の育成とはどのような取り組みか。

→文字情報システムの拡張を行い、災害時に、放送や、パトライト等の様々な情報による判断ができるよう環境改善を行うことと、その活用方法を学ぶ取り組み。自分で考え、能動的に動ける子どもになれるような力の育成をめざす。

委員: 不審者が侵入してきた場合、事実をそのまま伝えると不審者を怒らせることにつながりかねないので、不審者の侵入を、キーワードで伝える工夫も必要。

委員: 以前体罰の事案があり、そのことを知らない教職員もいる。風化させないため、人権研修の機会などに知らせて欲しい。

→事案を風化させず、全教職員で安心な学校づくりに取り組む意識づくりをしていきたい。

<中期目標2>→ICTの活用では、調べ学習や、振り返り学習に活用しており、宿題を出して家庭と連携している教員もいる。今後、先生方のスキルアップをめざしたい。キャリア教育では、外部人材を活用し講演会を企画している。また相互理解を深めるため、地域の学校との交流や近畿地区陸上大会等に参加し、他の聴覚支援学校の生徒との交流も深めている。

委員: キャリア情報は保護者にも必要。進路選択の参考となるので、研修会などあれば、保護者にも参加させて欲しい。

委員: 居住地校交流は進路を考える一助にもなるのでより丁寧に進めていただきたい。

<中期目標3>→聴覚障がいのみならず、現在の支援教育のあり方を学びながら専門性の向上を図りたい。外部との連携も今後さらに充実させたい。

<中期目標4>→0～2歳児の親子を対象に、すこやかな成長を促していけるよう教育相談を行っている。不安や疑問など個々のニーズに応じた支援を行い、子育て講座につなげている。子育て講座には現在、0歳児7人、1歳児9人、2歳児11人が参加している。保護者や教員を対象とした「夏の子育て講座」には多くの申し込みがあった。コロナ前に近い人数である。

<中期目標5>→ICTによる作業等の効率化、会議数の削減など、先生方の意見を取り入れながら進めている。

今後ますます進めて行けるように考え、取り組んでいきたい。

会長: 今年度は子どもの数が減り、学級数も減った。それに伴い、教員数も減ったが、業務としては変わらないのが現状。

また、コロナ前の学校を知らない先生もいる。戸惑いはあると思う。お互いに協力して、できるところは簡素化して皆で頑張ってもらいたい。
6. その他
 - ・令和6年度使用教科用図書選定について承認された。(資料6)
 - ・今年度の計画 第2回 11月16日(木) 10:30～12:00 第3回 2月22日(木) 10:30～12:00

次回の会議日程

日時	令和5年11月16日(木)10:30～12:00
会場	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室